



2018年7月19日 (木)
NO. 876号 本号3頁

安倍を退陣に追い込もう！ 19日行動に参加しましょう！

国会前では、

9条改憲NO！北東アジアの平和と共生を！政治の腐敗と人権侵害を許さない『安倍政権の即刻退陣を要求する7・19国会前大行動』

<呼びかけ>

第196国会の最終盤に際し、総がかり行動実行委員会など市民運動は、この国会でさらに明らかになった安倍政権の下での政治の腐敗と人権侵害に抗議し、安倍政権の即刻退陣を求めて、国会正門前で大集会を開催します。この国会では、森友・加計学園問題での驚くべき公文書隠蔽・改ざん、防衛省による自衛隊の日報隠しの露呈、財務官僚のセクハラ事件などなど、通常では考えられないような政治の腐敗が露呈しました。与党はこれを数の力で居直りつづけ、加えて、残業代ゼロなど労働法制の改悪、カジノ法、TPP11、参院の選挙制度改悪、などなど、たくさんの悪法を押し通しました。また今回の西日本の大水害に対する政府の対応の遅れなどには許容しがたいものがあります。

一方、朝鮮半島の南北会談、米朝会談などが進みだしているにもかかわらず、安倍政権は従来からの改憲と北朝鮮への硬直した圧力の方針を継続するなど、国際的な流れに逆行する時代錯誤の動きを続けています。

全国の市民の中には安倍政権への怒りの声が満ち満ちております。私たちはこのような安倍政権の退陣を求めて、この間、木曜行動など、国会周辺での行動を続けてきましたが、今国会の最終盤に際して、上記の大規模な国会行動を行います。

安倍政権の政治責任を追及し、退陣を要求する声をみんなで挙げましょう！

- 日時：7月19日（木）18：30～20：00
- 場所：国会議事堂正門前を中心に（並木通り両側、南庭・北庭前歩道）
- 内容：各立憲野党代表と市民の連帯挨拶（廣渡清吾氏、山城博治氏、木村真氏、など）
（パフォーマンス）数千本のキャンドルを掲げ、歌とコール、など
- 主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
- 賛同団体：安倍9条改憲NO！全国市民アクション／安全保障関連法に反対する学者の会／安保関連法に反対するママの会／安保安法違憲訴訟を支える会／安保安法法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合／AEQUITAS エキタス／基地の県内移設に反対する県民会議／改憲問題対策法律家6団体連絡会／九条の会／共謀罪NO！実行委員会／原発をなくす全国連絡会／雇用共同アクション



／さようなら原発 1000 万人アクション／宗教者九条の和／Stand For Truth／TPP プラスを許さない！全国共同行動／「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会／日本労働弁護団／「秘密保護法」廃止へ！実行委員会／未来のための公共／森友・加計問題の幕引きを許さない市民の会／立憲デモクラシーの会

大阪では、18:00 から天満橋駅周辺で宣伝・署名行動

<よびかけ>

西日本に「厳重な警戒の呼びかけ」「避難指示」が発せられている最中に、安倍首相、小野寺防衛大臣上川法務大臣、自民党の岸田政調会長、竹下総務会長等々自民党の国会議員等が「赤坂自民亭」なる酒宴を開いていました。朝鮮民主主義共和国の核実験、ミサイル発射を国難と煽り立てる安倍政権は、死者200人を超える大災害、真に国難とも言うべき事態の中で宴会騒ぎを起こしていました。この政権や党が強引に進める「憲法改正」など信じることも許すこともできません。

今月の大阪総がかり行動の「9条改憲ノー」の街頭宣伝、署名活動にご参加下さい。

今月は、市民団体の担当ですので「しないさせない戦争協力関西ネットワーク」からお知らせさせていただきました。各団体のビラ、署名用紙（板）もお持ち下さい。

とき：7月19日（木）午後6時～7時

ところ：地下鉄・京阪天満橋駅出口一带

主催：大阪総がかり行動

延長国会、政府は災害救助・救援・復興第一に 悪法強行をやめ廃案に！

7/5 夜 安倍首相ら赤坂衆院議員会館でパーティ。オウム死刑執行命じた上川法相も執行前日にも関わらず参加。同時刻、大阪・兵庫に避難勧告。

西日本豪雨51人死亡

空白の66時間 タイムテーブル

66時間災害本部設置せず。『人命優先』発言は7/TAM10:00。災害本部設置は、その23時間後。

7/11~18 欧州・中東訪問を当初予定。国会延長しとして、しかもこんな時に外遊？との批判沸騰で取りやめに！『赤坂亭』という政治道徳の退廃！

オウム7人死刑執行

批判噴出 安倍首相「死刑執行前夜に上川法相と乾杯」

7.7日刊ゲンダイより

大阪憲法会議・共同センター 〒530-0041 大阪・北区天神橋1-13-75 大阪ビルディング26階
☎06-6337-2128 FAX 06-6382-2175 E-mail:osaka112@osaka-constitution.jp

党利党略 参院6増が成立、与党強行＝比例に特定枠

自民党が提出した参院議員定数を6増とする改正公職選挙法が18日午後の衆院本会議で、与党の賛成多数で可決、成立しました。与党は、野党が「党利党略」と批判する中、採決を強行しました。来夏の参院選から適用され、今後は各党による候補者擁立や調整作業の動きが本格化します。これだけ批判の強い悪法の強行で、政府は複雑な新制度を有権者に周知することが課題となります。

採決では全ての野党が反対に回りましたが、TV等でも報道されていますように、自民党の船田元・衆院議員総会長は棄権しました。

古屋圭司衆院議院運営委員長は18日の衆院議運委理事会で、本会議で採決を行うことを決定しました。反対する立憲民主党の辻元清美国対委員長らは大島理森衆院議長と会い、本会議開会を見送るよう申し入れたが、大島氏は拒否しました。

改正公選法は、「1票の格差」是正のため、現行で議員1人当たりの有権者数が最も多い埼玉選挙区の定数を2増します。そして、比例代表の定数も4増し、当選順位をあらかじめ定める拘束名簿式の「特定枠」を導入するものです。

自民党は「鳥取・島根」「徳島・高知」の合区によって選挙区から出馬できなくなった候補を「特定枠」で救済する方針です。改正後の参院議員定数は現行の242から選挙区148、比例100の248に増加することになります。沖縄の本土復帰に先立ち沖縄選挙区を新設した1970年の公選法改正を除けば、参院の定数増は初めてです。



各地のとくくみ

長野県・松川村 「いのちと平和のフェスティバル in 大北」開催

北アルプスのふもと、長野県松川村の公園で8日、「いのちと平和のフェスティバル in 大北」が開催され、400人超が参加しました。

「野党共闘をさらに進める大北連絡会」のよびかけで、「いのち」「平和」に関する様々な活動をしている人たちが「であい」「つながる」ことを願い、実行委員会手作りの「七夕まつり」です。

ステージの両側には30を超える出店ブースが並び、ハンドメイド作品販売、軽トラデモなどの活動を紹介したパネル展示、プラカード作成のワークショップ、フード&ドリンクコーナー、バルーンアートなど、子どもからおとなまで楽しめる出店が並びました。

ステージでは、インド弦楽器など様々な分野のアーティストが演奏。詩の朗読やコーラスなどの発表も。「七夕まつり」にあわせ、願い事を短冊に書き、ササの葉に飾りました。

池田町から参加した母親は「平和を感じるつどい。子どもたちも楽しんでます」と語り、手をつないだ4歳男児は「たのちかった」と感想を語りました。

ステージ発表のフィナーレは西アフリカの太鼓とダンス。太鼓のリズムに合わせて会場のみんなで踊りました。参加者が手をつなぎ輪になって「たなばたさま」の合唱で終了しました。



埼玉 有権者過半数の達成を喜び、引き続き3000万人署名の目標達成に

憲法九条を守る上尾共同センターは14日、埼玉県上尾市で第13回総会を開きました。日本共産党の糟谷珠紀市議があいさつしました。

同共同センターは憲法9条を守るさまざまな署名を有権者過半数（上尾市では9万人）の10万人以上集めています。今回の総会で承認された2018年度の活動方針では、有権者過半数の達成を喜ぶとともに、引き続き3000万人署名の目標達成に取り組むとしています。

総会では、「しんぶん赤旗」政治部の中祖貴一記者が「安倍九条改憲の真相を語る一取材現場から」と題して講演。普段の取材や活動する中で感じたことを紹介し、自衛隊を憲法9条に明記すると、戦後の日本が希求し続けてきた武力を用いない平和構築を放棄することになると訴えました。

また、この間の米朝首脳会談や南北首脳会談によって北東アジアの平和体制構築の大きな可能性が生じたと指摘し、「新しく展開した平和への情勢を発展させ、南北の平和を不可逆な平和にし、北東アジア全体の平和に広げていけるかが大事だ」と強調しました。